学校番号	1302

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新・高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等	本校作成のプリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じたことから創造する「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」と「鑑賞」の分野について学習します。
・思いや見方、感じ方は人それぞれ違います。表現形式の特性や形態・色彩などについて学びながら、自分なりの感じ方や見方、表現を深めましょう。「鑑賞」を通して、見方や感じ方の違いを共有すると、さらに見方や感じ方に広がりや深みが増します。
・表現したいものが形にできるように、画材の使い方や色についての基本的な知識を学習します。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
創造活動を通じて表現のために必要な知識・技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】
美術を愛好する心情を育て、多様な表現方法や美術文化に関心をもち理解を深めるようにする。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な知識・技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫して表している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	手の鉛筆デッサン	・クロッキー ・グレースケールの作成 ・鉛筆を用いてのデッサン ・相互鑑賞	a: 目的を理解し、画材の特性を活かして表現している。 b:対象を見つめて特徴をつかみ、構成などを工夫している。 c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの 学習活動に意欲的である。	提出物 観察	提出物	観察 振り返りシート
	色彩演習	・色相環(基本色)の作図 ・寒色暖色の作図 ・相互鑑賞				
2学期	切り絵のネームプレート	・下絵(文字のデザイン)作成 ・切り絵の作成 ・相互鑑賞	a:切り絵の特性を理解し、デザインナイフなどの道具の特性を活かして正しく使用することができる。 b:名前を切り絵としてアレンジするなかで文字の形のなかに面白さを見つけ工夫して表現している。 c: 素材の特徴を理解するとともに、工夫をこらし主体的に取り組もうとしている。	提出物 観察	提出物	観察 振り返りシート
	アートガラス制作	・下絵作成 ・アートガラス制作 ・額縁制作 ・相互鑑賞	a: アクリル板や木の特性を理解し、ニードルや彫刻刀、アクリル絵の具などの道具の特性を活かして工夫を凝らし表現している。 b:表現形式の特性を活かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 c: 素材の特徴を理解するとともに、工夫をこらし主体的に取り組もうとしている。	提出物 振り返りシート	提出物	観察 振り返りシート

3学期	模写	・模写 ・着彩 ・相互鑑賞	a:模写の技法を理解し、形、色を正確に描写しようとしている。 b:作品をよく観察し、主題にあった表現している。 c:模写の技法、作品の特徴を理解し、主体的に取り組もうとしている。	観察 提出物	提出物	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度